

## 北朝鮮の核実験について（声明）

平成28年1月7日

原子力委員会

1. 平成28年1月6日、北朝鮮が4回目の地下核実験を実施した。これは、国際平和と安全保障に対する明白な脅威であると同時に、核軍縮と核不拡散の取組を推進する国際社会に対する挑戦であり、本委員会は強く非難する。
2. 国際社会が人類の福祉の向上を目指して原子力の研究、開発及び利用を行うためには、核軍縮の推進と国際的な核不拡散体制の維持・強化が必要不可欠である。本委員会は、国際連合、国際原子力機関等におけるそのための取組を支持するとともに、我が国が率先してその推進の一翼を担うべきと考えている。
3. 今回、度重なる安保理決議に違反して北朝鮮が再度核実験を強行したことは、包括的核実験禁止条約の成立を含め核軍縮・核不拡散体制を強化する取組を進める諸国民に打撃を与え、核兵器の究極的廃絶を希求する我が国国民の強い願いを無視する行為であり、断じて許されない。本委員会は、北朝鮮に対して、核兵器開発計画を即時かつ全面的に放棄し、速やかに国際核不拡散体制に復帰することを強く求める。